

第2回（仮称）札幌市森林基本方針策定に関する有識者会議（庄子委員）議事録

日時：令和4年6月3日（金）10：00～12：00

場所：北海道大学農学部

委員：庄子委員

札幌市：上田自然緑地係長、久保職員

【上田係長】（資料の説明）

=第4章=

【庄子委員】私有林で針広混交林化した後は、木材生産からは基本的には撤退するだろうという目論見か。

【上田係長】そうなる。

【庄子委員】今も木材生産はしていないし、森林面積も小さいし、今後も多分しないであろう。手をかけても採算が見合わないであろうというのが殆ど。そのままにしておいて災害面で問題にならないようにして…

【上田係長】公益的機能を発揮させた上で自然の遷移に任せるような形となる。

【庄子委員】今、齢級構成がこのような状態であるが、将来的にまた同じようなことが起きないか。（将来の、ある年に）根本的に木材が足りなくなって木材価格が高くなってきた時に針広混交林化したところから全部伐り出してチップ、バイオマス発電を使おうかという話になると、また同じような齢級構成を招いてしまう。心配しすぎなのかもしれないが、そこら辺の担保というものは全然ないのか。

【上田係長】私有林をコントロール出来る力はない。

【庄子委員】基本的には良いというか、そうせざるを得ないのかなというところはあるが、市有林の方は齢級構成に関しても平らになるように。極端な形にはならないようにする努力は必要かと思う。私有林の方はどこまで色々努力しても最終的にこちらが想定したことを担保出来るか、という問題があるような気がするので、それなりに…という気はする。

【上田係長】完璧にはいかないが我々の一つの目標として、私有林の中でも齢級構成を出来るだけ平準化することを方針として掲げておけば、今後何か施策を追加する時にその考えに基づくことが出来そうである。

【庄子委員】譲与税の関係で予算が多く、出来ることは多い感じもする。一方で、将来の全国的な政策の不安定なところもあるので、札幌市だけ前に出た施策を進める必要はないと考える。国や北海道と一緒に進めていけば良いのでは。

【庄子委員】私有林の方は社会的経済的な状況によってたくさん切ったりするため齢級構成に偏りが出るのはしょうがないような気もするので、逆に市有林の方は社会情勢に反映さ

れない形で年齢構成も平準化して、木材が足りないとか色々なことになった時も十分に対応出来るようにするのが必要かと。この資料からそう思った。

【上田係長】第1回目の会議のご意見で、「社会や経済の変化に応じて変える考え」と「簡単には変えずにおく考え」に分けるご意見があったが、庄子委員のイメージは市有林において「変えずにおく考えや方針を持つ」ということになるか。

【庄子委員】どちらかというと市有林の方も環境とか林業とか偏るのではなく、どっちも戦略で林業に振れた時も林業やっていますと言えるし、環境に振れたときも環境やっていますとした方が良いような気がする。

【上田係長】白旗山について、今のたたき台では人工林経営のみの記載であるが、その一辺倒ではなく、環境のエリアも考えるようなイメージか。

【庄子委員】白旗山は林業にして、他の都市環境林は環境というような位置付けする等、色々できると思う。市有林は色々なタイプの森林管理の考えを持ち、状況が変わっても常に対応出来るようにした方が良いのではないか。森林の施策を絞りすぎると、将来に状況が変わった時に、もう取り返せなくなる。やはりそこら辺は多様化が必要かなという気がする。外から見ると無駄に見えるものでも、それがいつ役に立つか分からない。

【上田係長】樹木の成長には50年等の長い時間がかかるので、長いスパンで見なければならぬ。

【庄子委員】「あの時あれしなければ良かった」というパターンが林業ではすごくあるような気がする。市有林では恒常的にやるべきことや、広く施策を進める、保険のような役割があると思う。私有林と市有林における管理の考え方の切り分けはした方が良いのではないか。

=第5章=

【庄子委員】森林組合と労働力の話が重要。登山道整備の仕事と林業の仕事をうまくセットで出して、恒常的に通年で出来ないものか。林業だけでやると雇用が季節的になってしまうので。うまく別の仕事とセットにしたり出来ないものか。

【上田係長】札幌でいうと冬の除雪に関して担い手不足が市政の大きな課題となっている。林業と除雪を結びつける視点もある。

【庄子委員】それは良い。

【庄子委員】白旗山では、林業技術者の訓練的な役割を持たすのもあるのかなと思う。札幌だと交通機関的に集まりやすいというものもあると思う。

=第7章=

【庄子委員】自然歩道の件に関しては、ROS (Recreation Opportunity Spectrum) という概

念がある。

「レクリエーション機会を Spectrum に配置しましょう」というもので、アメリカの国有林とかで取り入れている。「原始的な自然環境から都市的な自然環境まで連続体みたいに配置を出来るようにしましょう」というのを紐づけて、それぞれにどれだけ人が利用するかとか整備するかというのを紐づける。色づけしてしまう。

一番原始的なところは例えば青い色づけにすると、道も整備していないし実質的に自己責任的なところになっている。逆に都市的なエリアは人工的に整備する。道が壊れたら直すという風にタイプ分けをして色づけをしてしまう。

スイスやカナダでは看板をレベル分け・色分けしている。「青は一人では行けない」等と分かりやすくする。クマが出て赤（都市的なところ）は対応、青（原始的なところ）は行く人はそういう場所だと知って行くので対応しない。大雪山はそんな感じで色分けしている。スイスの登山道の看板も ROS で色分けしている。黒から先に行ったら死んでも助けない。

【上田係長】実際に色分けをしているところはうまくいっているのか。

【庄子委員】理想的にはそうだが、実際やってみると都市的なところに急に原始的なところが接していたりする。理屈はうまくいっているが、うまくいっていないところもある。藻岩山も都市的なところに原始的なところが接してしまう。

ただ Spectrum にならなくても色分けはしてもいいかなと思う。

【久保職員】エリアというよりは道で色分けか。

【庄子委員】道で色分ける。例えば、白旗山の奥の歩道は原始的な位置づけにする。そうすればそういったところは歩道施設が壊れても直さない理屈付けになる。そういう場所も好きな人がいる。その代わり、円山の入口とかは整備する。

【久保職員】色分けの基準や指標は。

【庄子委員】色々な試みはされているが、実際には現状を踏まえて色々やることになるのかなと思う。

【庄子委員】円山や藻岩山の登山口に子供を連れて行って思うのは、トイレがなかったり、藻岩山の慈恵会、三角山のところは、トイレはあるけど綺麗ではない。それと、子供は和式を使えない、子供を連れて行ってもハードルが高い。

例えば、白旗山で伐採した木で造った登山口のハウスみたいなものに、ある程度綺麗で使えるようなトイレを置くと裾野は広がるのでは。そこにある程度お金を使ってしまって、白旗山の奥地は何もしないという色分けが良いかなと。

【久保職員】道内でやっているのは大雪山ぐらいか。

【庄子委員】今のところは大雪山。色んなところでやろうかな、やったらどうかという話はあるがなかなかうまくいかない。国有林でもニセコの方でやったが、事故があった時

の訴訟の懸案が出ている。「管理をしない」と行政が言っても、札幌市で管理している土地だと「怪我をしたらどうしてくれるんだ」となった時に、裁判所でどう判断するか分からない。色分けが通じないかもしれない。

【上田係長】色分けをしているという情報の提供は、ホームページと現地の看板というイメージか。

【庄子委員】その通り。地域の人達・関係者の人達にも集まってもらい色分けを決めてもらえれば知らないという話にはならない。

【上田係長】愛好家の方もこだわりがあるので、色分けはうまくいくものか。色分けは勾配など客観的指標で何かわかるのか。それとも感覚か。

【庄子委員】感覚のところもある。

【庄子委員】まずは利用の多いところは後回しにし、人が少ない奥地から位置づけする方が早い。

=第8章=

【庄子委員】白旗山のトレランやマウンテンバイクについて、これは企業と個人が提供するものもあるので、市で提供するものはかぶらない方が良い。道内のマウンテンバイクのコースはここ5年でだんだん増えてきている。

【上田係長】民間に任せるところは任せて、白旗山で中途半端なものを造らない方が良いのかもしれない。

【庄子委員】マウンテンバイクをやっていい場所が多いと裾野が広がる面はある。マウンテンバイクやってる人達のコミュニティの意見を聞く必要がある。

【上田係長】トレランは自然歩道でかなり多いが、出来るだけ分離したい。

話を伺ってマウンテンバイクはやらなくても良いと感じた。自転車の場合、散策路の利用者との事故につながる可能性もある。

【庄子委員】西岡の方からの利用を増やせる方策は。

レクリエーションサイトの視点からみたときに、西岡から（既存の道以外に）うまく入れる道があると良い。

【庄子委員】滝野すずらん丘陵公園のレクリエーション施設はすごい。白旗山は被らずに林業をメインとするテーマで良いのでは。

=第7章=

【上田係長】札幌市の登山道・自然歩道の量は十分だと考えているが、他都市からみてどうなのか。

【庄子委員】札幌は多いと思う。都市に山が隣接しているところの道が結構多い。藻岩山も

片側は随分開発されてロープウェイで行けるが、慈恵会の方は登山道そのままだったりする。ROS の話でいうと、そういうところは整備するけれど一部に関しては管理をしないところだが、ここはやめた方がいい。

【庄子委員】 市民の森の制度をやめるのは問題ない考える。